



(京都西南部 2万5千分の1)

一九八〇年より継続して実施している外環状線街路新設工事に伴う発掘調査は、今年で三年目を経過し、昨年に続き今年も木簡四点を出土した。工事区間は長岡京左京二・三・四坊に当り、今年はず西川原寺・東川原寺の地域を五区に分けて調査を実施した。三年間の調査で長岡京期の建物跡二十棟以上、井戸跡

## 京都・長岡京跡(4)

- 1 所在地 京都市伏見区羽東師菱川町
- 2 調査期間 一九八二年(昭57)一〇月～一九八三年四月
- 3 発掘機関 京都市埋蔵文化財研究所
- 4 調査担当者 本 弥八郎・長宗繁一
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 八世紀末
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

五基、溝、土壇・柵列等を検出したのはじめ、下層では弥生・古墳・奈良時代の遺構・遺物を多数発見している。木簡四点は、字西川原寺の西端に設定した調査区より出土した。木簡(1)(2)(3)は調査区西北端より検出した浅い落ち込み状遺構に堆積した腐植土層より出土した。木簡(4)は中央部を北西から南西方向に流れる溝より出土し、木製容器・人形とともに出土している。年代は伴出土器からみて長岡京期に比定されるものである。

## 8 木簡の釈文・内容

- (1) ・「謹啓 □□□×  
 ・「□□□□□□進□錢期×  
 (171)×(26)×8 019
- (2) ・「□□「付カ」便添上郡□□×  
 ・「□□合錢一貫二百文  
 □□□□右錢限□□×  
 (310)×32×8 081
- (3) 「□□「共カ」六十一□□」  
 77×21×4 031
- (4) ・「×刑マ酒カ自女」  
 (マ) ×□□□□□□  
 (131)×18×3 051

## 9 関係文献

京都市埋蔵文化財研究所『長岡京跡』(一九八二年)

(長宗繁一)